

実践女子大学 履歴書・教育研究業績書 記入要領

※ 年号は西暦、フォントは MS 明朝、数字と記号は半角で記入してください。

和暦から西暦の変換に誤りがないようご注意ください。(参考：[和暦→西暦変換サイト](#))

※この様式は、令和5年度改訂版文部科学省の教員個人調書の様式を使用し一部修正を加えています。

※記入に際しては、記入例・記入要領をお読みになりご記入くださいますようお願いいたします。

※提出の際は印刷の上で、押印をお願いします(印影の印刷不可)。

「履歴書」作成の留意点

- (1) 「氏名」の欄については、シラバス等に掲載する本学で使用する氏名をご記入ください。
※本学で通称を使用の場合は、全ての氏名欄には本学で使用する氏名(通称)を記載し、「教員応募用紙」の戸籍氏名欄に戸籍上の氏名を記載してください。
- (2) 「国籍」の欄には、当該教員が外国籍である場合にのみ国名を記入してください。
- (3) 「学歴」の欄について
 - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(授与された学位及び称号を含む)を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において課程の修了に必要な単位を取得後、博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。なお、学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、正確に記入してください。
 - ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
 - ③ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
- (4) 「職歴」の欄について
 - ① 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
※事項の最後にその職を辞された年月を、必ずご記入ください。
 - ② 非常勤と常勤(専任)が区別できるようにしてください。
 - ③ 過去における教員組織審査(大学等設置教育審査、教職課程認定委員会)において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位および担当授業科目の名称(大学院にあつては、判定結果を含む)を記入してください。
 - ④ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
- (5) 「学会及び社会における活動等」の欄について
 - ① 「現在所属している学会」には、履歴書作成時において所属する学会の名称を記入してください。
 - ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
 - ③ 所属学会については、退会あるいは継続の状況を()で付記してください。
 - ④ 学会及び社会における活動は、学会、国、自治体等の委員・役員等について記入し、在任期間を()で付記してください。

※企業等からの教員について

 - 担当分野等に関連する主要な事項について記入してください。
 - 企業等における主な活動や業績について記入してください。
- (6) 「賞罰」の欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
- (7) 「現在の職務の状況」の欄について
 - ① 記入時点における職務の状況について記入してください。
 - ② 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」、「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」、「理事」等の職名を記入してください。職名がない場合は「-」を記入してください。
 - ③ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

教育研究業績書「作成の注意点」

※非常勤講師の場合は、[JREC-IN Portal](#)の応募書類作成ツールで作成した「業績リスト」を研究業績書に代えることが可能となります。その場合は、氏名欄に押印の上、提出してください。

（「履歴書」は、本学様式での提出が必須となります。）

※必ずしも、全ての業績を記載する必要はありません。

専任教員：募集の分野に関連に関する業績を中心に記載してください。

非常勤講師：担当予定科目に関連する業績を記載してください（[JREC-IN Portal](#)の「業績リスト」を利用の場合は、担当予定科目関連業績に○印をつけてください）。また、業績数が多い場合は、主な業績を記載ください。

※教育研究業績について、指定書式では書ききれない場合、別紙としてそれらをリストにまとめたものを添付することができます。その場合、教育研究業績書の該当項目に「別紙参照」と明記してください。

(1) 「氏名」の欄について

本学で使用する氏名をご記入ください。

(2) 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

「研究分野」の欄には、平成29年度まで使用されていた科学研究費補助金の「[系・分野・分科・細目表](#)」の分科レベルの名称又は「[科学研究費補助金助成事業 審査区分表（総表）](#)」の中区分の名称（「およびその関連分野」は省略可）を参考に、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、「系・分野・分科・細目表」の細目または「[科学研究費補助金助成事業 審査区分表（総表）](#)」の小区分を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、各表に該当がない場合は、適宜記入してください。

(3) 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について（共通事項）

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する内容を簡潔に記入してください。
- ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください（非常勤講師は概要省略可能）。

(4) 「教育上の能力に関する事項」について

1. 「教育方法の実践例」について

- 授業外における学習を促進する取組、授業内容のインターネット上での公開等
- 司法研修所等の教育機関における教育経験

<記載項目例>

- ・優れた教育方法の実践例
- ・学生の授業外における学習促進のための取り組み
- ・LMSの活用
- ・課題・レポートの活用（効果的な題材、評価方法等工夫点について）
- ・遠隔技術の利用
- ・視聴覚教育技術の利用、市販教材の活用の工夫
- ・体験型学習の導入
- ・双方向授業の実践、ディベート、ディスカッション等の導入
- ・プレゼンテーションの導入
- ・その他、教育効果を高めるための取り組み 等

2. 「作成した教科書、教材」について

- 授業や研修指導等で使用する著書、教材等

※出版された教科書だけでなく、授業を行うにあたって学生の理解を促し、教育効果を高めるために工夫した教材についても記載可です。

3. 「教育上の能力に関する大学等の評価」

- 採用決定の際等における評価内容
- 各大学における自己点検・評価での評価結果
- 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果

<記載項目例>

- ・学生による授業評価、教員同士の相互評価をまとめたもの
- ・各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）

・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価 等

4. 「実務の経験を有する者についての特記事項」について

- 大学から受け入れた実習生等に対する指導
- 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

<記載項目例> * 担当授業に関連する教育上の実務経験についての特記事項を記載してください。

- ・キャリアセミナー講師
- ・教育実習生受け入れ指導
- ・社会人向けセミナー講師
- ・〇〇資格研修講師
- ・〇〇〇財団〇〇研修会講師 等

5. 「その他」について

- 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- 国家試験問題の作成等

(5) 「職務上の実績に関する事項」について

1. 「資格、免許」

- 医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
免許番号がある場合は記載してください。

2. 「特許等」

- 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

3. 「実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- 大学との共同研究
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種ADR 等の委員
- 行政機関における調査官等の官職

<記載項目例>

* 担当授業に関連する職務上の実務経験についての特記事項を記載してください。特に実務家教員の場合は詳細に記載してください。

- ・企業・官公庁での実務内容
- ・スポーツ指導者としての経験・実績・資格
- ・芸術家としての展覧会出品・作品など
- ・音楽家としての経験・指導実績・演奏実績
- ・学芸員として担当した展覧会概要
- ・コンピュータソフト開発実績
- ・医師としての経験・症例研究実績 等

4. 「その他」

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績等

(6) 「研究業績等に関する事項」について

1. 「著書、学術論文等の名称」の項について

- ① 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- ② 著書については、書名を記入してください。
- ③ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
- ④ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

⑤ その他については、翻訳、学会発表、外部資金獲得研究、書評、総説、調査報告等を記載してください。

2. 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修・編集・編著・共著・部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。なお、学会発表等の場合は「単独」「共同」と記入してください。

3. 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

書類の作成時において未発表のものは記入できません。

4. 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

① 著書については、発行所を記入してください。

② 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

③ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

5. 「概要」の項について（非常勤講師は省略可能）

① 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。

② 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要（200字程度）のほか、以下の事項を記入してください。

- ・ 本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入すること）。
- ・ 本人の氏名（下線を付すこと）を含む著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）（当該著書等に記載された順に記入すること）。

学会及び社会における活動等			
現在所属している学会		〇〇学会、日本〇〇学会	
年月（西暦）	事項		
〇〇〇〇年 4月 〇〇〇〇年 10月 〇〇〇〇年 5月 〇〇〇〇年 5月	(社) 〇〇学会会員 (継続) (財) 〇〇〇〇 (〇〇〇〇年3月まで) 〇〇学会 幹事 (〇〇〇〇年〇月まで) 〇〇学会 編集委員 (現在に至る)		
①「現在所属している学会」には、申請時において所属する学会の名称を記入してください。 ②学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。 ③所属学会については、退会あるいは継続の状況を（ ）で付記してください。 ④学会及び社会における活動は、学会、国、自治体等の委員・役員等について記入し、在任期間を（ ）で付記してください。			
※企業等からの教員について ①担当分野等に関連する主要な事項について記入してください。 ②企業等における主な活動や業績について記入してください。			
賞罰			
年月（西暦）	事項		
〇〇〇〇年 3月	〇〇学会 〇〇賞 受賞 公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。		
現在の職務の状況			
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
〇〇大学	准教授	〇〇学部△△学科	××概論、〇〇基礎演習、△△特講 ※大学等の教員の場合は、担当授業科目。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容。
開設後の職務の状況			
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
上記のとおり相違ありません。			
西暦 20XX 年 〇 月 〇 日			
氏名			実践 花子 印

(著書)				
1	○○○○○○○○○○	单著	○○○○年○ 月	○○○書店 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○
2	○○○○○○○○○○	共著	○○○○年○ 月	○○○書店 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (氏名1、氏名2、掲載頁)
(学術論文)				
1	○○○○○○○○○○ (査読付)	单著	○○○○年○ 月	「○○○」742号, ○○ジャーナル, 掲載頁 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○
2	○○○○○○○○○○	单著	○○○○年○ 月	○○○大学大学院修士論文 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○
3	○○○○○○○○○○	共著	○○○○年○ 月	○○大学研究紀要, 第80集, 掲載 頁 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ (氏名1、氏名2)
(その他)				
[翻訳]				
1	○○○○○○○○○○	单訳	○○○○年○ 月	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○
2	○○○○○○○○○○	共訳	○○○○年○ 月	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○ (氏名1、氏名2、担当頁)
[学会発表]				
1	○○○○○○○○○○	单独	○○○○年○ 月	第○○回○○○○学会 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○
2	○○○○○○○○○○	共同	○○○○年○ 月	第○○回○○○○学会 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○ (氏名1、氏名2)
3	○○○○○○○○○○	共同	○○○○年○ 月	○○○○学会 ○○回国際大会総 会 (ポスター発表) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (○○大学○○担当教員による研 究プロジェクト)
[外部資金獲得研究]				
1	○○○○の○○考察	代表	○○○○年○月 ~ ○○○○年○月	科学研究補助金基盤研究(C) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○
2				
[書評]				
1				
2				
[総説]				
1				
2				
[調査報告]				
1				
2				